

# 苫小牧市教育委員会会議録

会議区分	苫小牧市教育委員会 第 13 回 定例委員会
日時	平成28年11月18日 自 15時00分 至 15時20分
場所	市役所第2庁舎2階南会議室
出席委員	教育長 和野 幸夫 委員 上原 毅 委員 佐藤 郁子 委員 佐藤 守 委員 植木 忠夫
欠席委員	
会議録署名委員	佐藤 守 委員
会議録作成職員	総務企画課主事 前田 亜矢子
事務局職員	教 育 部 長 松 浦 務 教 育 部 参 事 丹 野 靖 彦 総 務 企 画 課 長 釜 田 直 樹 総 務 企 画 課 主 査 下 濱 辰 哉 施 設 課 主 査 南 川 大 樹 総 務 企 画 課 主 事 前 田 亜 矢 子
会議案件	別紙のとおり
会議の経過概要	別紙のとおり

1 委員会開会の宣言（和野教育長）・・・15時00分
2 会議録署名委員の指名（佐藤守委員）
3 会議録の承認
（和野教育長） 第12回定例教育委員会（平成28年10月28日開催）の会議録
について、このとおり調製することとしてよろしいでしょうか。
（一同「はい」の声）
-会議録どおり承認-
4 教育長の報告
（和野教育長） 本日は、午前中に西小学校、午後から清水小学校を訪問いただきあ
りがとうございました。お気付きの点がございましたら、ご指摘をいただきたいと思
います。
10月28日の定例教育委員会議以降の事業などについて報告いたします。
初めに、10月26日には第57回苫小牧市PTA連合会研究大会が、約350名
の参加により市民文化会館と市民会館を会場として盛大に開催されました。今年は胆
振東部との合同開催ではありませんでしたので、昨年より100名ほど少ない規模と
なっております。一昨年から新設された特別支援教育に関する第8分科会を始めとし
て、各分科会では、保護者の情報交換の場として活発な話し合いがされておりました。
また、教職員にとっても、日頃の考え方や取組を説明する良い機会になっているもの

<p>と思います。</p>
<p>10月31日から11月3日にかけて、平成28年度の学校管理職の面接を実施しております。短い時間での面接ではありますが、学校の様子を知ることができる貴重な機会であります。これから、次年度に向けた人事検討が始まることとなります。</p>
<p>文化事業では、11月3日に文化賞・文化奨励賞の表彰式を開催し、各委員にも出席をいただきありがとうございました。前後しますが、11月1日には市政功労・自治貢献表彰が行われ、教育関係では学校医の吉田憲基先生、学校歯科医では豊巻裕一先生と高橋康則先生が受賞されております。</p>
<p>次に、各委員の皆様にも分担して視察いただきましたが、11月4日に教育研究大会が開催されております。視察時間が限られておりましたが、教職員の各分野での研究成果を今後の教育活動に生かしていただきたいと期待するところであります。</p>
<p>11月10日と11日には、第37回北海道国際理解教育研究大会・胆振苫小牧大会が、「グローバル社会を生き抜く行動力を身に付けた児童生徒の育成」を大会主題として、苫小牧市教育研究所と文化交流センターで開催され、北海道内の各地から約150名の先生に参加をいただきました。11日の午前中に開催された緑陵中学校ほかの公開授業に関して、全国研究協議会の滝会長から、わかりやすい授業の内容や落ち着いた生徒の態度などについて高く評価していただきました。</p>
<p>11月12日には、苫小牧市立ウトナイ小学校の開校10周年記念式典が厳粛に開催されました。地域町内会や校長先生を始めとする教職員、卒業生、保護者の10年間の支援に感謝をするところでございます。また、500名を超える子供たちの合唱には、圧倒する元気があり大変感動いたしました。</p>
<p>次に、12月議会についてであります。11月22日が召集告示であり、同時に議案説明会で議案や補正予算案の概要について議員説明を行います。</p>
<p>今回の定例委員会に提案しております補正予算案のご承認をいただいた後、市議会に市長が議案として送付することになっております。補正予算については、別途担当から説明させていただきます。</p>

<p>今回の議会日程は、12月1日に開会、1日から6日までが一般質問、7日が文教経済の常任委員会、8日に特別委員会が開催され、9日に閉会となる予定です。</p>
<p>最後になりますが、冬を迎え、インフルエンザの流行が心配になってまいります。</p>
<p>今のところまだ学級閉鎖はございませんが、今年は1ヶ月以上罹患のペースが速いと</p>
<p>の報道もあり、児童生徒や教職員への注意喚起や健康管理について、また、成績処理</p>
<p>の時期となりますので、作業点検を含めて個人情報管理にも配慮し、生徒の進路指導</p>
<p>等に万全を期し落ち着いた環境で年末を迎えるよう、緊張感を持って学校経営に励んで</p>
<p>いただきたいと、先の校長会でお話しております。</p>
<p>以上で報告を終わりますが、何か質問はございますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>5 議 案</p>
<p>第1号 平成28年度教育費補正予算について</p>
<p>(教育部長) -平成28年度教育費補正予算についての説明-</p>
<p>(和野教育長) 質疑に付します。何か質問はございますか。</p>
<p>(上原委員) 北光小学校の事業については、当初のスケジュール通りということですので、これについてはわかりました。啓北中学校に関してですが、全体的には1年遅れという説明が今ございました。</p>
<p>それで、北光小学校の方は問題ないと思いますが、啓北中学校の校舎について、あそこはたぶん防災関係の避難所に指定されているのではないかと思います。そうしますと、当初のスケジュールより遅れて着工したり完成したりするでしょうから、避難所としての機能が果たされるのかどうか心配になるのですが、その心配はないでしょ</p>

うか。
(施設課主査) 現状におきましても、啓北中学校の校舎及び屋内運動場につきましては、災害の状況を見ながら避難所として活用させていただいております。実際に改築の時期が遅れますことから、子供たちに与える工事期間中の影響等もございますが、避難所機能としては今までと同様に今後もお使いいただけると考えております。
(上原委員) それでですね、あそこの校区内の町内会は、自主防災組織を作っております。そうすると、防災に関しては市の危機管理室からいろいろな連絡がありますが、今回の件に関しては全く連絡がないものですから、そういうことで変化が生じた場合には、危機管理室との連携も取りながら、危機管理室の対応も話し合った方がいいのではないかという気がするのですが、そこら辺の考え方はないかどうかお聞きしたいです。
(施設課主査) 私どもとしましては、年度当初に、その年度に実施します各工事について危機管理室と情報を交換しております。この度の工事の遅れにつきましては、危機管理室はもとより、地域住民に対してもお知らせが必要と考えておりました。しかしながら、国の補助金の採択の見込みがない段階でのお知らせは難しかったことから、内定を受けた後に地域に対してお知らせ文書を発送させていただいております。
(上原委員) 今の答弁に関連したことなのですが、地域への通知が送付されたことは、私も承知しております。保護者と地域にお住まいの方に対して、ただ工事のスケジュールが遅れますよという内容だけです。当初、啓北中を改築する時には、保護者も含め地域住民への説明会を実施していますよね。そうすると、やはり、当初の計画が変更になる訳ですから、地域の方々に対しても再度説明会が必要なのではないかという気がしたものですから、そこら辺の考えについてはどうでしょうか。
(施設課主査) 地域への説明会についてでございますが、実は、この文書を発送する前に学校と協議をしてまいりました。その中では、一番に説明会という考え方でございましたが、学校側と協議した結果、生徒を通じて保護者へ文書をお持ち帰りいただくということと、学校側で町内会の役員の方々に説明していただけるということで、

この度の文書での周知という形をとらせていただいております。

(上原委員) その説明なのですが、学校の担当者が来られて、こういうふうなスケジュールが変更になって1年延びますという内容だけでした。例えば、具体的に何年度に何をするとか、そういった説明はありませんでした。しかも、防災の拠点になっているから学校と話をしてこういう通知を持ってきたので、地域等には連携を取ってくださいという話でした。確かに、通知には教育委員会の施設課の名前が入っていました。

それで、大事なのは、学校でどうするのか等について、保護者であればわかるのですが、苫小牧市として、地域に関してはそういう説明は丁寧にすべきではないかという気がしたのです。明德小の件もありますし、説明不足という点ではそのような感じを持ったものですから、具体的なスケジュールについて、前回と比較しながらこういうふうに変わっていくという細かい説明があった方が親切なのではないかという気が私にはしたものですから、その点についてはどうでしょうか。

(施設課主査) この文書を発送する際に、私どもとしては、まず国の補助金の内定が下りて工事を再開できるという、この第一歩をお知らせしたいというところで文書を発送させていただきました。あと、文書の中身についてですが、委員のおっしゃるとおり、明確に何年度に工事が終わりますというような書き方はしておらず、当初のスケジュールより1年遅れるというところまでしか記載しておりません。これにつきましては、現段階において、全体の工程の組み直しをしているところでございまして、まずは改築工事に着手できるということをお知らせしたかったということがございます。

今ご指摘のありましたとおり、丁寧な説明という観点で、工程が明らかになったところで学校側とも相談させていただいた上で、改めて説明が必要であれば説明させていただきたいと考えております。

(上原委員) そうすると、ある程度スケジュールが確定した段階で、説明会を開くかどうか再考するということですね。

<p>地域の方々が心配しているのは、例えば、マスコミ等には体育館がいつ出来るとか、旧校舎をどうするとか、大規模改修はいつだとか、年度まで出ています。マスコミにそこまで出ていて、担当する教育委員会等からは具体的な説明がない訳です。それで、これはどうなっているのかと言われたので、具体的なスケジュール変更の内容を地域にも伝える必要があるのではないかと思ったものですから、そこでもう一度考えていただきたいと思います。</p>
<p>(和野教育長) よろしいでしょうか。</p>
<p>(上原委員) はい、わかりました。</p>
<p>(和野教育長) 他にございますか。質疑がなければ、原案どおり決定することとしてよろしいでしょうか。</p>
<p>(一同「はい」の声)</p>
<p>-原案どおり決定-</p>
<p>6 協 議</p>
<p>(和野教育長) 協議事項をお持ちの方はいらっしゃいますか。</p>
<p>(一同「なし」の声)</p>
<p>7 その他</p>
<p>(和野教育長) その他について、何かお持ちの方はいらっしゃいますか。</p>

(一同「なし」の声)

8 委員会閉会の宣言（和野教育長）・・・15時20分